

# 知っていますか？

# 脳脊髄液減少症

## 脳脊髄液減少症とは

誰にでも起こる病気であり、大変身近な病気です。

脳脊髄液減少症は、交通事故や転倒、スポーツ外傷や出産など、体に衝撃をうけることが原因で、脳脊髄液が漏出し、様々な症状を引き起こします。

## 症状

症状は多彩で、頭痛、頸部痛、めまい、耳鳴り、視機能障害、極度の倦怠・易疲労感が主要症状。これらは、座っている時や立っている時に悪化し、横になると症状が落ち着く傾向にあります。見た目はどこも悪くなくさそうなので気のせいとかなまけ病とか言われることが多く、まわりの人に理解してもらえない苦しみが病気の苦しみを倍増させます。

その他、多彩な随伴症状があります。

### 1. 脳神経症状

目のぼやけ、眼振、動眼神経麻痺（瞳孔散大、眼瞼下垂、光過敏など）、顔面痛、顔面しびれ、聴力低下、めまい、耳鳴りなど

### 2. 脳神経症状以外の神経機能障害

意識障害、無欲、歩行障害、認知症、記憶障害など

### 3. 内分泌障害

乳汁分泌など

### 4. その他

吐き気、嘔吐、頸部硬直、腰痛など

これらの症状は天候に左右されることが多く、特に気圧の変化に応じて変化します。雨の降る前や台風の接近により頭痛、めまい、吐き気、だるさなどが悪化する傾向があります。

## 診断、治療

現在、厚生労働省において診断基準や治療方法に関する医学的研究が実施されている段階ですが、対応できる医療機関についての情報が乏しいという意見もあり、岐阜県のホームページには医療機関一覧が掲載されています。

引用:脳脊髄液減少症全国ネットワーク架け橋ホームページ  
国際医療福祉大学熱海病院ホームページ  
岐阜県ホームページ